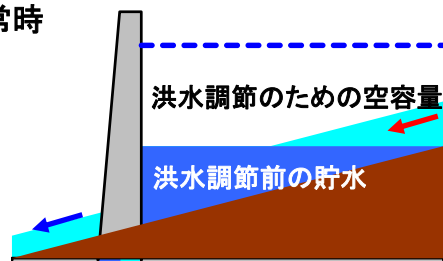


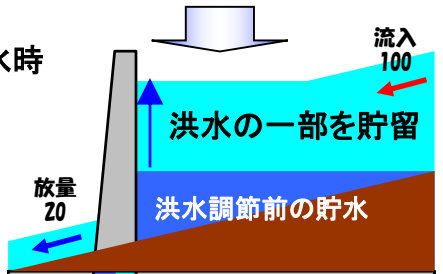
旭川ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

ダムの洪水調節機能(イメージ)

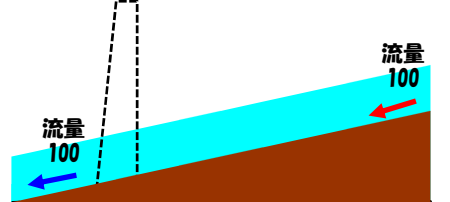
平常時



洪水時



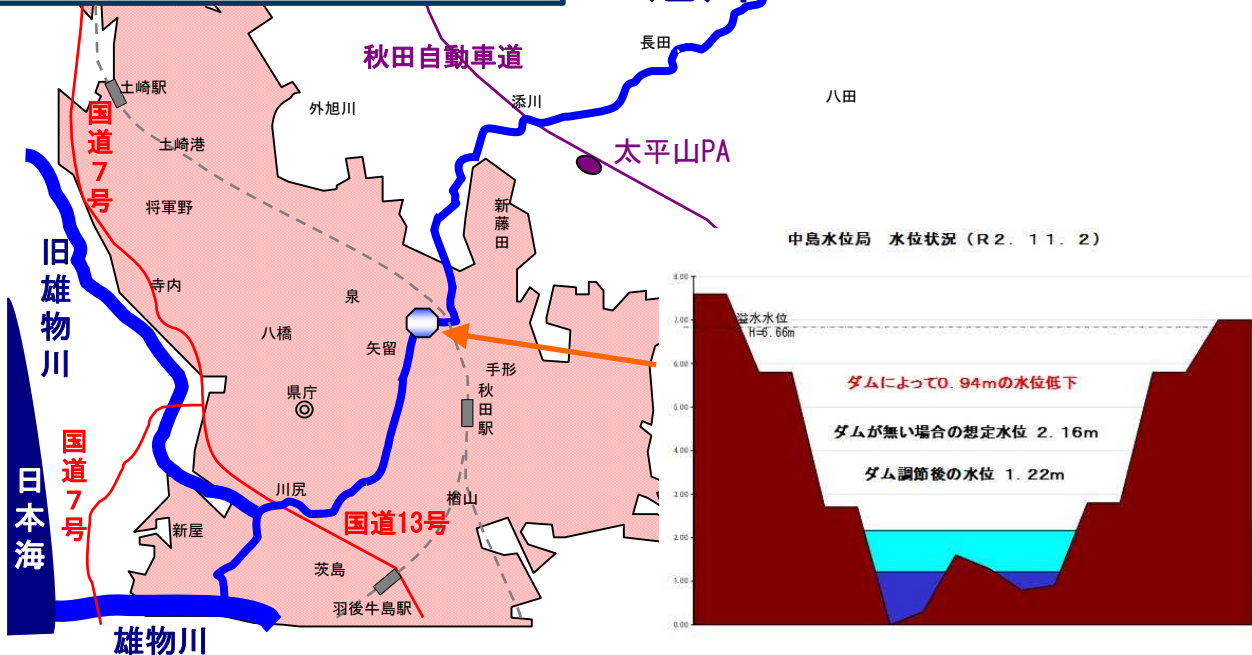
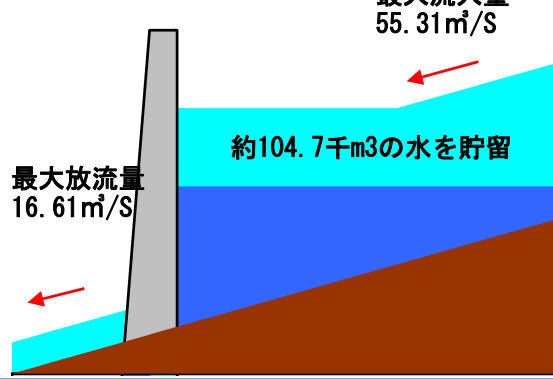
ダムがない場合



流れている100の水は、そのまま下流に流れていきます。

このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は1/5になり、洪水被害を軽減します。

旭川ダム 出水前・後の貯水状況



旭川ダムでは、11月2日の「前線(低気圧)による出水」のため、洪水調節を行いました。約104.7千m³の洪水をダムに貯留し、ダム下流の旭川に流れる水量を少なくしました。

旭川ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

別紙

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

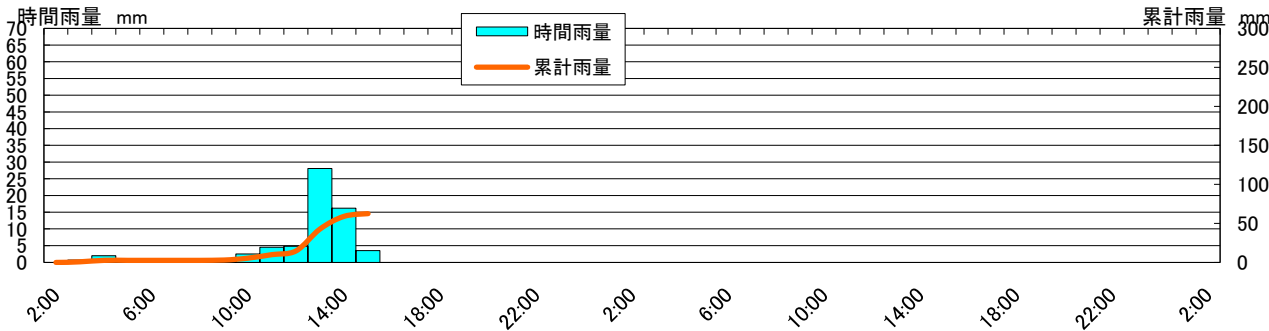
概況

旭川ダムでは11月2日の「前線（低気圧）による出水」のため洪水調節を行いました。

降雨の状況は、流域平均の最大時間雨量28.1mm、累計雨量は60.1mmとなり、旭川ダムにおける最大流入量は55.31m³/sまで上昇しました。

洪水調節の結果、約104.7千m³の水をダムに貯留し、旭川の水位を94cm下げることができました。

降雨の状況（旭川ダム流域平均雨量）



旭川ダム諸元

河川名	雄物川水系 旭川
型式	重力式コンクリートダム
堤高	51.5m
堤長	380.0m
堤体積	125,000m ³
集水面積	34.4km ²
湛水面積	0.35km ²
有効貯水量	4,200千m ³
サーチャージ水位	EL. 144.50m
洪水流量	40m ³ /s
竣工年度	昭和47年

旭川ダム 洪水調節の状況

